

埼玉県知事
大野元裕様

埼玉県議会公明党議員団
団長 蒲生徳明

下水管破損による道路陥没事故に関する緊急要望

1 月 28 日午前、八潮市内の交差点で、中央部分が陥没し、トラックが転落する事故が発生した。事故から 55 時間が経過した現在も、警察や消防が懸命に救助活動を行っている。

しかし、陥没現場では穴の拡大が続いており、二次災害の恐れがある中で、トラック運転手の救出が難航している。何より一刻も早い人命救助を強く求める。

県は下水管破損に伴い、12 市町の約 120 万人に洗濯や風呂の使用を控えるよう呼びかけるとともに、事業者に対する下水の制限を要請し、福祉施設や病院、小中学校県立学校などにも、可能な限り排水を控えるよう協力を求めている。加えて、緊急放流を始めた。

一方で、長引く下水道の使用制限によって、県民の日常生活や事業活動に支障が出ている。応急復旧や本復旧の見通しが立たない現状では、復旧が中長期化する懸念があり、多くの県民が不安を抱えている。

県は下水管の破損による道路陥没事故がいつどこで発生するか分からない状況を踏まえ、県民の日常生活や事業活動を守り、下水管整備の安全性を確保することが重要である。そのため、迅速な実行を強く求める。

人命救助を最優先すべきことは言うまでもないが、復旧作業が中長期にわたるであろうことを踏まえ以下、要望する。

記

- ・今回の破損個所は、5 年ごとに行う定期点検で、令和 3 年度には老朽化度 B 判定（補修工事等の必要なし）だったと聞いている。なぜこのよう事態に至ったのか、徹底的な原因究明を早急に行うこと

- ・ 12 市町を対象とする下水道の使用制限は、長期にわたる可能性がある。改めて県民に周知を徹底するとともに、県民それぞれの受け止め方が異なるため、使用制限のより具体的な内容(制限の程度)を明確に伝えること
- ・ 県内では令和 4 年 6 月に川島町で流域下水管に起因する道路陥没事故が発生しているが、過去にこれほど大規模な事故はなかった。人命救助が行われた後、迅速に応急復旧に取り掛かると思うが、応急復旧や本復旧までのスケジュールや工程表など具体的に県民に示すこと
- ・ 国や関係機関と連携し、再発防止に向けた下水管の緊急点検を実施すること。また、定期点検の実施頻度や期間について見直しを検討すること
- ・ 陥没現場周辺の住民が八潮市役所に避難しているが、県は昨年末に締結した防災協定に基づき、トレーラーハウスを避難者の避難場所や、現場で懸命な救助に当たる消防や警察の拠点として活用すること

以上